

県政調査計画書

令和7年12月1日

神奈川県議会議員 殿

会派名 自由民主党神奈川県議会議員団
団長名 高橋栄一郎

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 田中徳一郎 (団 員) 土井りゅうすけ、加藤 元弥、綱嶋 洋一、 山本 哲、市川 和広、芥川 薫、 おざわ良央、田中 信次、武田 翔
2 調査目的	タイでは、産業集積や政府の税制優遇により効率的な供給網が構築されており、さらにインドシナ半島の中心に位置し、ASEAN各国の物流の結節点となっているという地理的優位性から、日系企業の事業展開が進んでいる。 また、高齢化の進展により、医療・介護を始めとする高齢者関連市場の拡大が注目されている。 そういった状況を踏まえ、ライフサイエンス・ヘルスケア産業において、日本・タイ両政府機関や経済団体と連携して、日系企業のタイ進出を支援している「KAIGOLife」を聴取し、県内中小企業のビジネス展開支援の参考とする。 同じく「ジェットロ・バンコク事務所」においても官民協力機関等と連携した支援プラットフォームを整備・構築していることから、このような取組を聴取し、今後の施策の参考とする。 「チュラロンコン大学交通研究所(CUTI)」は、高齢化・都市混雑・運転手不足等を背景とした新たなモビリティ政策の研究・制度設計支援を行っていることから、この取組を聴取し、新たなモビリティ供給のあり方の検証の参考とする。 「日本発条株式会社」は、国際的な部品サプライヤーとして、情報通信分野や産業生活分野など様々な業界を支えている。その取組を聴取し、日系企業にとってのタイ進出メリットに関する理解を深める。 そのほか、タイ国内での技能実習生の募集、選抜、日本語教育などを行っている団体の取組について聴取し、外国人材の雇用支援についての参考とする。



3 調査期間	令和8年3月28日～令和8年3月31日
4 調査地	タイ王国
5 調査項目	(1) KAIGO Life KAIGO Lifeは日本・タイ両政府機関と経済団体と連携して、日系企業のタイ進出を支援する団体であり、ライフサイエンス・ヘルスケア産業におけるプラットフォームの拡充や、企業間の連携強化を支援している。 今回団体を訪問し、ライフサイエンス・ヘルスケア分野における県内中小企業のビジネス展開支援について聴取し、今後の県内中小企業の海外展開の支援に関する施策の参考とする。 (2) ジェトロ・バンコク事務所 タイは、製造業における生産拠点としての役割に加え、近年はタイ国内の成長する中間層を狙った消費市場としても注目されており、ジェトロ・バンコク事務所は、当地の官民協力機関等と連携した支援プラットフォームを整備・構築し、タイにおける中小企業のビジネス展開をサポートしている。 今回ジェトロを訪問し、県内中小企業のタイへのビジネス展開に関する取組について聴取し、今後の施策展開の参考とする。 (3) チュラロンコン大学交通研究所（CUTI） チュラロンコン大学交通研究所は、タイにおける都市交通政策（ライドヘイリング・プラットフォーム、オンデマンド交通等）に関する研究を行うタイ国内有数の研究機関である。今回、新たなモビリティ供給のあり方について聴取し、今後の施策展開の参考とする。 (4) 日本発条株式会社（タイ現地工場） 日本発条株式会社は、情報通信分野や産業生活分野などの部品を最適な形で供給することに特色を持つ企業として注目されている。特にタイ工場は、タイにおける自動車産業の需要に対応するグローバルな生産拠点としての役割を果たし、現地自動車メーカー各社への供給を行っている。今回日系企業にとってのタイ進出メリットを聴取し、今後の中小企業の海外展開への支援施策の参考とする。 (5) 日本への技能実習生の育成・送り出し団体 タイ国内での技能実習生の募集、選抜、日本語教育

	など状況について聴取し、外国人材の雇用支援についての参考とする。		
6 経費の概算額	① 議員旅費 … 503,230円 内訳 航空・鉄道賃 396,430円 宿泊費 106,800円 ② 通訳料 … 69,443円 内訳 ガイド 35,043円 専門通訳 34,400円 ③ 車借上料 … 42,832円 合計 615,505円 (調査団合計 6,155,050円)		

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関	調査箇所及び調査内容
1	3/28(土)	バンコク	午前 午後	飛行機 バス	(羽田空港 発 ～ スワンナプーム空港 着) ●視察1「Kaigo Life」 〈バンコク泊〉
2	3/29(日)	バンコク	午前 午後	バス バス	●視察2「ジェトロ・バンコク事務所」 ●視察3「チュラロンコン大学交通研究所 (CUTI)」 〈バンコク泊〉
3	3/30(月)	サムット プラカー ン バンコク	午前 午後	バス バス	●視察4「日本発条株式会社(バンプー工業 団地)」 ●視察5「日本への技能実習生の育成・送り 出し団体」 〈バンコク泊〉
4	3/31(火)	移動	午前 午後	飛行機	(スワンナプーム空港発 ～ 羽田空港 着)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 田中徳一郎 (団 員) 土井りゅうすけ、加藤 元弥、綱嶋 洋一、 山本 哲、市川 和広、芥川 薫、 おざわ良央、田中 信次、武田 翔
---------	---

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調 査 経 費	議員 1 人当たり 100 万円以内	・ 議員 1 人当たりの経費は 615,505 円であり、基準を満たしている。	適
② 調 査 箇 所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 か所以上調査実施 移動日は 1 か所以上調査実施	・ 3 泊 4 日の行程の中で、飛行機による終日移動日を除き、移動日は 1 箇所以上、それ以外の日は、午前および午後、それぞれ 1 箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2. 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	- 本県では、高齢者人口の大幅な増加が見込まれており、この状況に対応するため、医療・介護体制の充実など様々な施策に取り組んでいる。K A I G O L i f e、チュラロンコン大学交通研究所(C U T I)、及び技能実習生の育成・送り出し団体に対して、高齢化に対する取組等について意見交換を実施することは、今後の県政課題解決の一助となるものである。 - タイは、A S E A N市場のハブとしての地理的優位性、サプライチェーン構築の効率性、国内消費市場の拡大等の理由で注目されていることから、本県の中小企業においてもタイへの事業展開が進んでいる。日本発条株式会社及びジェトロ・バンコク事務所に対して、ビジネスの海外展開に関する取組について、意見交換を実施することは、今後の県政課題解決の一助となるものである。

② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	今回の調査対象項目は、どれも本県の重点施策と関連したものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは時宜を得たものである。
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	各分野において、今後の本県における施策の取組に活かして行くためには、現地に赴き、現地の職員から、事業内容者その成果について、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。